

# 令和2年度 自己評価・園関係者評価報告書

令和3年3月3日

学) 海山学園 認定こども園  
追分幼稚園 附属追分ベビー園

## 1 本園の教育目標

- ・健康で明るい子ども〔健康〕
- ・自分で考え、自ら行動し、やりぬく子ども〔主体性〕
- ・感じたこと、考えたことをすなおに表現する子ども〔表現力〕
- ・友達と遊び、思いやりのある子ども〔思いやり〕

## 2 本年度の重点目標・計画

- (1) 安全・安心な教育環境の整備・充実
- (2) (新) 幼稚園要領・保育指針の主旨を活かした教育・保育活動の充実
- (3) 開かれた園経営と組織的な対応の充実

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安全・安心な教育環境を整備する	B	全職員で安全点検を実施し、改善すべき部分について優先順位を付け、計画的に改善・整備を図った。
2	教育・保育の質を高めるために効果的に園内研修する	B	他園参観、東北大会準備の復命や園長講話を職員会議等で複数回実施した。その結果、幼児理解が深まり、同僚性も育まれてきた。
3	一貫した指導ができるよう園内連携体制を整備する	C	ベビー園で要請訪問を実施し、連携体制を見直した。認定こども園としての連携をより深めるため、「0歳から5歳までの育ちの全体計画」を見直し作成した。

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
B	重点事項を明確にし、職員会議等で共通理解を図ったり、決まったことを全職員に伝えたりすることで、教育目標達成に向けた職員の意識が高まった。質の高い教育・保育のためには、さらなる連携、教育環境の整備、研修の充実を進めていく必要がある。

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	組織見直し	連携を深め組織的な対応ができるよう、人事配置や組織改編を行い、安全・安心な教育環境の整備を計画的に行うシステムを構築する。
2	安全管理	安全に係る分掌を中心に、全職員で「安全・緊急対応マニュアル」を整備し活用しながら周知を図る。
3	研修	認定こども園要請訪問や私立幼稚園連合会秋田大会（研究発表園）を全職員の研修の機会と捉え、「0歳から5歳までの育ちの全体計画」を活用した話し合いの回数を増やす。

## 6 園関係者評価委員会の評価

- ・この評価を通じて課題が明確になった。保護者と職員にアンケートを実施したことも評価できる。来年は評価委員にもアンケート結果を公開してほしい。
- ・今後は改善の方策を全職員で話し合い計画的に改善を進めてほしい。